

②【青果問屋】

古き良き地元の商店というイメージを受けた。非常に安価な値段で野菜が売られていた。お店を営業していた年配の女性の話によると、公民館に集まるのが楽しみになっているそうだ。



①【野焼き】

土地の維持管理のため、害虫駆除等を目的として行われる野焼きを見かけた。広い田畑の中二人で作業を行っていた。古くから続く伝統的な風景であるが、煙や悪臭等のトラブルなどの防止のため一部例外を除き平成13年から規制が行われている。



大通りにつながる道のわきに今にも崩れそうな竹の根がむき出しになっているところがあった。車道に近い場所であったため危険だと考えた。

③



④【舗装された道】

田んぼやビニールハウスに囲まれた道。他の小道よりもきれいに舗装されており、非常に歩きやすかった。道幅もそれほど狭いものではなかった。



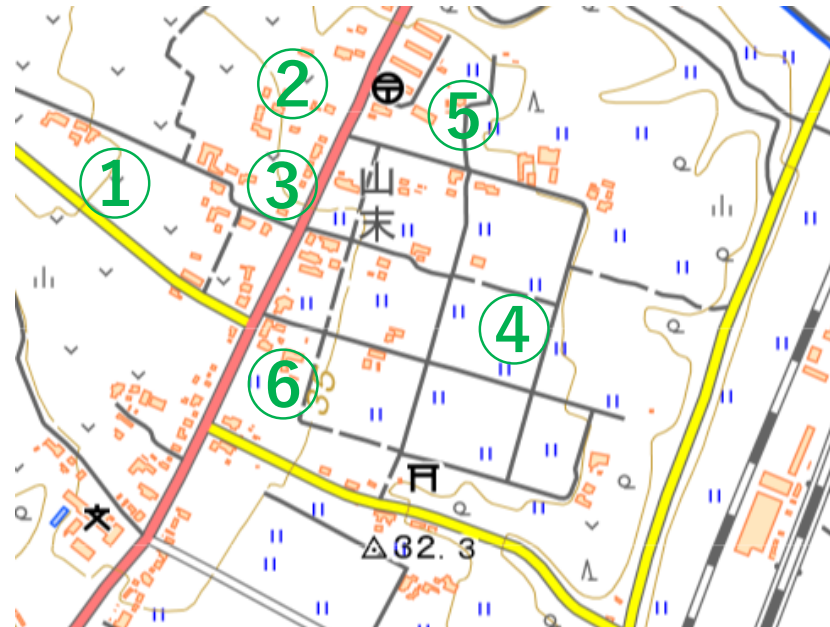
⑤【郵便局】

団地の目の前に郵便局。4等連なった団地の目の前に存在するため、非常に便利だろう。



⑥【十号線】

東都農駅周辺の基幹道路となっている十号線。他地域と東都農をつなぐ重要な道路であり、車の往来も非常に多かった。周辺に小学校も存在するため、安全性の懸念を持つ人もいる。



②【都農町立都農東小学校】

生徒数87名の学校で内野々分校には7名の生徒が通っている。学校のそばに住んでいらっしゃる教頭先生のお話では周辺地域は人柄の住民が多いようだ。交通機関が充実していないように思えるが、それほど不便には感じていないとおっしゃっていた。学校付近にある蓋のない側溝は先生という目線で見ると危険なものであるようだ。また、十号線が近くを通過しており速いスピードの車も多く通るため少々危ないと考えているらしい。



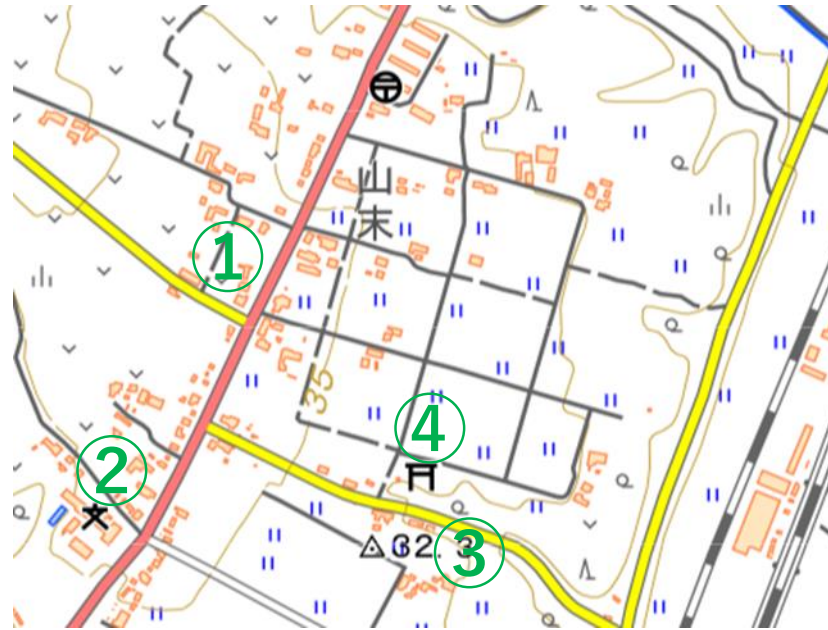
①【民宿・食堂 ほりうち】

地域住民の憩いの場となってる食堂であり、民宿としても営業している。地元の方が落ち着ける空間であり続けるために、テレビ等の取材委は断り続けていると都農東小学校の教頭先生から伺った。



③【電線にかかった木】

電線に木から伸びた枝が引っかかっていた。最悪の場合客家につながる恐れがある多雨危険であると考えた。



今回の実習を通して東都農駅の付近で危険な場所や地元の方々に愛されている場所など実際に現地に行ってみないとわからないことを学べた。また、想像したよりも少子高齢化が進んでいたという印象を受けたためこれから先自分たちにできる解決先を見つけて取り組んでいきたいと思う。

④【神社】

田畑沿いの道を歩いていたら、小さな神社があった。昭和50年吉日に建立されたものらしい。静謐な雰囲気が漂っていた。



①【讃岐うどん一の茶屋】

東都農小学校の故湯藤先生に押すうすめされ、ここで昼食をとった。私たちが訪れた時も地元の方がいらっしやり、談笑していた。料理がおいしいことに加えて、アットホームな雰囲気で居心地がよかった。

